

高齢社会から波及する様々な困難を解決する方策として、国は「地域包括ケアシステム」の検討を始めました。そもそも地域包括ケアシステムの原点は、広島県御調町（現尾道市）にある公立みづぎ総合病院で、リハビリテーションを受けて退院した患者さんが在宅復帰後に寝たきり状態になることを防ぐために「出前医療」を始めたのがきっかけでした。現在、同院の特別顧問である山口昇先生は、その原点の渦中におられた医師です。全国老人保健施設協会の会長に就かれていたころ、研究事業で何度かお目にかかりましたが、本当に優しい方で、その人間性を誰もが敬愛し、多くの方々に尊敬されていたことを改めて思い起こしました。今回の企画の中で、公立みづぎ総合病院リハビリテーション部の臂先生と三宅先生に執筆していただくことができ、嬉しく感じつつ、改めて地域包括ケアの原点を自然体で作上げた山口先生の偉大さに感銘を受けております。

厚生労働省老健局老人保健課の井上先生は、地域包括ケアシステムに関することばかりでなく、リハビリテーションについても言及され、現状と課題についてわかりやすく述べております。超高齢社会に附随する様々な問題を解決する切り札を「地域包括ケア」とした意義、その中でのリハビリテーションのあり方など、訪問や通所、施設などに勤務する理学療法士にはぜひ読んでいただきたい部分です。また、植松光俊先生は、訪問活動を理学療法士が実施する上で直面する問題点を整理し、あるべき姿などについて率直に述べております。理学療法士の訪問は地域ニーズが高く、専門職からも重要性が叫ばれているにもかかわらず、現場では未だ不十分な面が多いのが現状です。本稿では、それらの解決に向けた日本理学療法士協会の活動も紹介されており、東日本大震災復興特区の取り組みなどは、今後の理学療法士の地域活動に大きく影響するものと期待しています。

全国各地、地域事情に合わせ、様々な訪問活動が展開されています。鈴木先生には都市部ではなく、広域にわたる地方での訪問活動を、より効率的に運用できるサテライトの展開について述べていただきました。田村先生には、様々な地域で訪問活動を展開してきた豊富な経験を基に、地域包括ケアシステムについて考えていただきました。訪問活動は病院業務とは異なり、1人で活動するものです。人材の量的不足とともに、質の低下を来さないような教育体制づくりも重要になります。

訪問活動を担う理学療法士はどの地域でも不足しています。なぜなら、田村先生の論文の最後にも書かれていましたが、地域では本当に理学療法士の力を必要としているからです。（金谷さとみ）

理学療法ジャーナル

（第46巻 第10号）

発行 株式会社 医学書院

代表者 金原 優

2012年10月15日発行（毎月1回15日発行）

〒113-8719 東京都文京区本郷 1-28-23

定価 1,890 円（本体 1,800 円＋税 5%）

電話 本誌編集室直通 (03) 3817-5704

（担当：前野・川上・山崎）

〔2012 年 年間購読料（税込み、配送料
弊社負担）冊子のみ 20,880 円、冊子＋
電子版/個人 23,880 円、冊子＋電子版/
共有 27,200 円、電子版/個人 20,880 円、
電子版/共有 24,100 円〕

販売部直通 (03) 3817-5659・5660

広告室直通 (03) 3817-5696

ファクシミリ (03) 3815-7802

振替口座 00170-9-96693 番

印刷所 三 報 社 印 刷 株式会社 (03) 3637-0005

E-mail: ptj@igaku-shoin. co. jp

Web http://www. igaku-shoin. co. jp/mag/ptj/

広告申込所 株式会社 医薬広告社 (03) 3814-1971

・ Published by IGAKU-SHOIN Ltd. 1-28-23 Hongo, Bunkyo-ku, Tokyo © 2012, Printed in Japan

・ 本誌に掲載する著作物の複製権・翻訳権・上映権・譲渡権・公衆送信権（送信可能化権を含む）は株式会社医学書院が保有しています。

・ 本誌を無断で複製する行為（複写、スキャン、デジタルデータ化など）は、「私的使用のための複製」など著作権法上の限られた例外を除き禁じられています。大学、病院、診療所、企業などにおいて、業務上使用する目的（診療、研究活動を含む）で上記の行為を行うことは、その使用範囲が内部的であっても、私的使用には該当せず、違法です。また私的使用に該当する場合であっても、代行業者等の第三者に依頼して上記の行為を行うことは違法となります。

・ JCOPY <（社）出版者著作権管理機構委託出版物>

本誌の無断複写は著作権法上での例外を除き禁じられています。複写される場合は、そのつど事前に（社）出版者著作権管理機構（電話 03-3513-6969、FAX 03-3513-6979、e-mail: info@jcopy.or.jp）の許諾を得てください。

●編集顧問●

安 藤 徳 彦
上 田 敏
大 川 弥 生
高 橋 正 明
奈 良 勲
福 屋 靖 子

（五十音順、以下同じ）

●編集委員●

網 本 和
内 山 靖
金 谷 さとみ
斉 藤 秀 之
高 橋 哲 也
鶴 見 隆 正
永 富 史 子
福 井 勉
横 田 一 彦
吉 尾 雅 春

●編集同人●

伊 藤 俊 一
伊 藤 義 広
稲 員 恵 美
伊 橋 光 二
上 田 陽 之
大 場 みゆき
大 峯 三 郎
岡 哲 夫
沖 田 実
小 塚 直 樹
日 下 隆 一
工 藤 俊 輔
酒 井 桂 太
佐 藤 秀 一
関 屋 誠 二
富 樫 昌 夫
富 田 弘
長 澤 由紀江
長 野 基
中 村 春 明
丹 羽 義 治
濱 出 伸 彦
備 酒 順 一
深 浦 恵 美子
福 田 淑 子
二 木 文 彦
星 田 哲 男
前 牧 光 代
牧 田 和 夫
丸 山 仁 司
諸 橋 勇
山 田 英 司
横 山 有 里